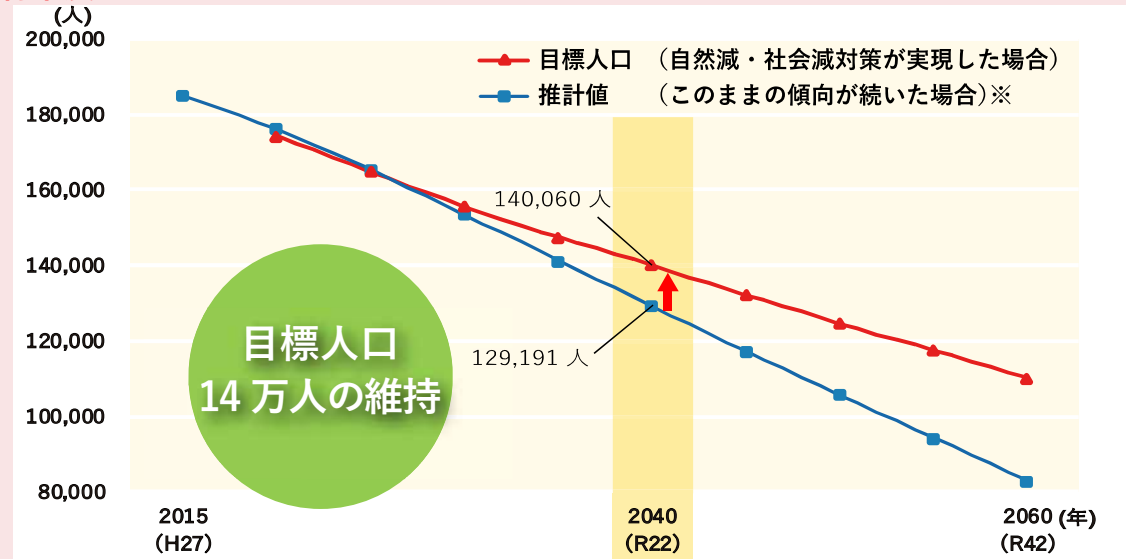


日立市人口ビジョン（2020～2060年＜目標人口：2040年＞）

人口ビジョンの位置付け 地方版総合戦略である「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎となるものです。

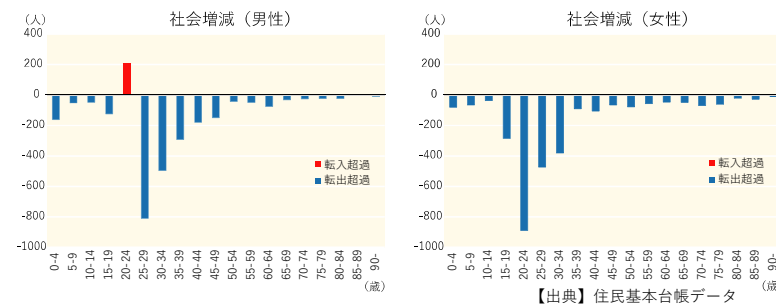
●人口の将来展望



※推計値：2018年に国立社会保障・人口問題研究所によって公表された推計人口

●人口の動向分析

- 20代女性と30代子育て世代といった若者の社会減（転出超過）の影響が大きい
- 若者の移動理由は「**しごと**」と「**住まい**」
- 若い世代ほど日立市に「**まちの魅力**」を感じていない傾向にある
- 若者の減少に伴い出生数も減少し、**少子高齢化**に伴う自然減が加速



●人口構造の変化が地域の将来に与える影響

人口減少・少子高齢化による人口構造の変化は、ともに支え合う地域社会の担い手の減少ばかりでなく、都市機能の低下や商業店舗などの減少により消費市場が縮小し、地域経済の衰退にもつながるなど、「**人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が更に人口減少を加速させる**」という負の連鎖に陥ることが懸念されています。

目指すべき将来の方向

【重点的に取り組む視点】

社会減対策

しごと

住まい

子育て支援

まちの魅力

自然減対策

データに基づく客観的な分析や様々なアンケート調査等の結果から、日立市へのニーズや改善すべき点を把握し、今後5年間の取組を検討する材料としました！
目標人口を達成するため、日立市では①若者の転入促進・転出抑制、②出生数の維持・向上に向けて、「**しごと**」、「**住まい**」、「**子育て支援**」、「**まちの魅力**」の4つの視点で重点的に地方創生に取り組みます！



第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

2020(令和2)年3月発行

(編集)日立市市長公室地域創生推進課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1

電話：0294-22-3111(代表)／E-Mail：sousei@city.hitachi.lg.jp

第2期
日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略
2020 - 2024

第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要（2020 - 2024 年）

基本方針

日立市の人口動態を見ると、若者を中心とした社会減の傾向が続いており、これに伴い年少人口と生産年齢人口が減少しています。

第2期総合戦略では、国及び茨城県の総合戦略を勘案しつつ、以下の取組を通じて、若者の定住を促進し、人口減少を和らげ、市民一人一人が暮らす地域において豊かさと生活の充実感を享受できるまちとなる、将来にわたって「活力のある地域社会」の実現を目指します。

「選択と集中」と「継続を力にする」

- 若者の主な移動要因となっている「しごと」と「住まい」、第1期で重点をおいた「子育て支援」、ひと・しごとの好循環を支える「まちの魅力」を高める施策について、さらなる充実を図りながら継続して取り組みます。

しごと

住まい

子育て支援

まちの魅力

× ひたらしさ

「ひたらしさ」を駆使した多極的な取組

- 海、山、さくらなどの豊かな自然環境、日立市固有の文化・伝統・産業、特色ある施策などの「ひたらしさ」を、掘り起こし、磨き上げ、最大限に活用し、各施策の独自性や優位性を高めます。
- 未だ十分でない施策分野においては、地域の実情を踏まえた工夫を凝らし、新たな「ひたらしさ」の創出を図りながら、先導的・先駆的に取り組みます。

雇用の確保・創出

将来に向けて安定的な「雇用の量」の確保・創出と、働きやすさ・やりがい・処遇などでの「雇用の質」の確保・向上を目指します。

基本目標

1



安心して働けるようにする

関連するSDGs 開発目標



数値目標

項目	基準値(H30)	目標値(R6)
市内従業者数	88,827 人(H28)	75,000 人

基本的方向(1) Society5.0の実現に向けた新たなビジネスモデル構築等の促進

- ① 未来技術の活用等による地域企業の生産性向上・魅力的な雇用の創出
- ② 未来技術の進展を見据えた新たな産業を切り拓く若者の育成

基本的方向(2) 地域経済の新たな付加価値を生み出す企業誘致・創業促進

- ① 若者の雇用・地域経済の拡大につながる企業誘致の促進
- ② 空き店舗・遊休資産等を活用した創業等の促進

基本的方向(3) 女性が更に活躍する雇用の創出・確保

- ① 女性が活躍しやすい魅力ある企業の誘致や魅力的なしごとの創出
- ② 中小企業等における女性就業の促進

基本的方向(4) 地域産業の特色を活かした産業振興

- ① 「ものづくりのまち」として集積された技術を活かした新たな販路開拓と雇用の確保、中小企業の競争力強化に向けた支援
- ② 市の花「さくら」や日立風流物等の地域資源を活用した商業・観光振興の推進
- ③ 豊かな農林水産資源を活かした地域経済の活性化

基本的方向(5) 次世代につなぐ後継者・担い手の確保・育成

- ① 中小企業等における後継者や担い手の確保・育成
- ② 雇用のミスマッチ解消による就業促進
- ③ 誰もが活躍できるまちづくりの推進

子育て支援の更なる充実や、安心して子育てができる環境づくりなどを推進し、子育て世代の定着を目指します。

子育て支援

基本目標

3



結婚・出産・子育ての希望をかなえる

関連するSDGs 開発目標



数値目標

項目	基準値(H30)	目標値(R6)
出生数	909 人/年(R元)	1,000 人/年

基本的方向(1) 出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで「切れ目」のない支援

- ① 若者の出会い・結婚応援
- ② 産婦人科や小児科の充実等による安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ③ ライフステージに応じた各種子育て支援
- ④ 子育てに関する効果的な情報提供や相談体制の充実

基本的方向(2) 子育て世代が働きながら子育てしやすい環境づくり

- ① 子育て世代の負担を軽減する放課後対策・支援等の充実
- ② ワーク・ライフ・バランスの実現と働き方改革の促進
- ③ 子どもを地域全体で支える環境づくりの推進

基本的方向(3) 特色ある教育環境の提供

- ① 次世代を担う力を磨き高める教育の推進
- ② 将来の地域を支える人材を育成するふるさと教育の推進

数値目標

項目	基準値(H30)	目標値(R6)
20～39歳女性人口 1,000人当たりの出生率	64.54% (R元)	76.02%

横断的な目標1

「ひたらしさ」を駆使した多極的な取組により地方創生を実現する

- (1) 「しごと」のひたらしさ (3) 「まちの魅力」のひたらしさ
- (2) 「住まい」のひたらしさ (4) 「子育て支援」のひたらしさ

横断的な目標2

多様な人材の活用を推進する

- (1) 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- (2) 誰もが活躍する地域社会の推進

横断的な目標3

新しい時代の流れを力にする

- (1) 地域における Society5.0 の推進
- (2) 地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり

転入促進・転出抑制

魅力的な住環境の確保等を図り、子育て世代等の若者の転入促進・転出抑制を目指します。

基本目標

2



新しい人の流れをつくる

関連するSDGs 開発目標



数値目標

項目	基準値(H30)	目標値(R6)
社会増減数	△1,324 人/年(R元)	△870 人/年

基本的方向(1) 魅力的な住環境の確保等による若者の定住促進

- ① 子育て世代の住宅購入促進・賃貸住宅の再生・活用の促進に向けた支援の充実
- ② 魅力的な住環境を形成するコンパクトシティの推進
- ③ 空き家の利活用による住まいの創出・新たな活用促進
- ④ 若者の定住・U・Iターン等の促進

基本的方向(2) まちの魅力を市内外に発信する戦略的プロモーションの推進

- ① 新たなまちの魅力の創出と効果的な情報発信
- ② シビックプライド(ふるさと日立を愛する心)の醸成

基本的方向(3) まちのにぎわい創出等による交流人口の拡大と関係人口の創出

- ① 交流拠点の活用・創出による中心市街地の活性化
- ② 自然環境・スポーツ・文化・イベント等を通じた交流人口の拡大
- ③ 地域活性化のキーパーソンとなる関係人口の創出

安全・安心で、持続可能なまちづくりを推進し、若者等のひとが集まり、定着につながるよう、まち全体の魅力向上を目指します。

安心・安全なまちづくり

基本目標

4



ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

関連するSDGs 開発目標



数値目標

項目	基準値(H30)	目標値(R6)
市民が住みやすいと思う割合	61.7% (R元)	65.0%

基本的方向(1) 将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進

- ① 防災・防犯対策の推進
- ② 誰もがいつでも安心して必要な医療を受けられる環境の整備
- ③ 医療・介護・福祉等の地域を支えるサービスの確保
- ④ 自動走行等の新技術を活用した新たな公共交通サービスの推進
- ⑤ 交通渋滞の解消、都市アクセス向上等に向けた交通インフラの整備

基本的方向(2) ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり

- ① ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり

